

授業科目 公衆衛生看護活動演習Ⅰ

【担当教員名】 宇田 優子、小山 歌子、杉本 洋、 稲垣 千文、小林 房代、磯部 直子 他		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 公衆衛生看護活動を展開する上で必要な能力である、地域看護診断方法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性を把握し、健康課題を抽出することの意義を説明できる 2. 地域の健康課題を把握し活動計画を立案するための理論モデルを説明できる 3. 地域特性や健康課題を把握するためのデータを入手できる 4. 既存資料から得られた健康に関する情報を分析しアセスメントできる 5. 公衆衛生看護活動計画を立案できる 6. 公衆衛生看護活動計画立案・実施、評価の過程を討議し、自己の考えを述べることができる 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1、2	公衆衛生看護活動における地域アセスメントの意義、地域の健康課題を把握するための指標	1、2、3	講義		
3、4	地域特性を把握するための情報（1）	1、2、3、4	講義・演習		
5	地域特性を把握するための情報（2）北区の歴史	3、4	講義・演習		
6、7	地域の健康課題を把握・分析する（1） 母子保健	1～4	講義・演習		
8、9	地域の健康課題を把握・分析する（2） 成人保健	1～4	講義・演習		
10、11	健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（1）	5、6	講義・演習		
12、13	健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（2）	5、6	講義・演習		
14、15	健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（3）	1～6	発表・全体討議 *進め方・内容は変更する場合がある		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	公衆衛生看護学	津村智恵子、上野昌江	中央法規	2013・3,600円＋税・1年次に購入したものを使用する	
	公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル	2013・4,400円＋税・1年次に購入したものを使用する	
	国民衛生の動向		厚生労働統計協会	2013・2,400円	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出欠、学習態度（提出物含む）50%程度 テスト 50%程度			【履修上の留意点】 パソコンを使用して、情報収集を行うので、パソコン・LAN ケーブルを持参すること		